

『住宅金融リテラシー向上のためのサイトを開設！』

- 日本銀行による2024年3月のマイナス金利解除、その後の追加利上げにより、住宅ローンを選ぶに悩まれるお客さまが増えています。
- 住宅金融支援機構では、「金利のある世界での住宅ローンの選び方」について、サイトを作成しました。是非、ご活用ください。

【サイトのイメージ】

住まいのしあわせを、ともにつくる。
住宅金融支援機構

“金利のある世界”でどう変わる？ これからの住宅ローン選びを考えよう

- ① 住宅ローンの金利はどうやって決まる？
- ② マイナス金利解除や追加利上げに伴う影響は？
- ③ 変動金利と固定金利、どちらを選ぶべき？
- ④ 住宅ローン選びではリスクの考え方がポイント！
- ⑤ 1500人に聞いた金利タイプ選びの傾向



もしも金利が上昇すると返済額はどうなる？

シミュレーション条件	
・借入額 4,000万円	
・借入期間 35年	
・元利均等返済	
・ボーナス返済なし	
・当初金利 0.5%	

金利が一切変わらない場合		金利が上昇した場合
1～35年目：0.5%		1～2年目の金利：0.5% 3～4年目の金利：1.0% 5～6年目の金利：1.5% 7年目以降の金利：2.0%
毎月の返済額	当初5年目	10.4万円
	6～10年目	10.4万円
	11年目以降	12.2万円 (+1.8万円) 13.2万円 (+2.8万円)
総返済額		4,361万円 5,332万円 (+971万円)



金利が上昇した場合、
金利が一切変わらない場合と比べて総返済額が

これがもし

40年返済の場合

971万円
(35年返済の場合)

増

50年返済の場合

1,220万円

増

1,740万円

増

〈サイトについて詳しくはこちら〉



URL: <https://www.flat35.com/lp/kinri/index.html>

「金利のある世界で住宅ローンを選ぶか」
についてFPが解説する動画もYouTubeに掲載しています。



URL: <https://youtu.be/dPTEMAmKfsc>